

動物でも植物でもキノコでもない！ 変形菌・ジクホコリ

地球上の全生物を「動物」や「植物」、「菌」というように分類しようとした時、どのグループに入れて良いか迷ってしまう**不思議な生きもの**たちがいる。その一つが**粘菌**（英語でslime mold）だ。粘菌は、ある時はアメーバ状の「変形体」になって、それこそスライムのように動き回って**“動物みたいに”エサを食べ**、ある時は「子実体」となって**“キノコや植物のように”胞子を飛ばす**。博物学者・南方熊楠が生涯研究した生物としても有名だ。

私が粘菌を意識し始めたのは、5年ほど前に外部の高校生発表会で増井真那くんに出会ったことがきっかけだ。真那くんは小学生の頃から粘菌の仲間の**変形菌を自宅で飼育している**強者で、当時、高校生ながら変形菌の本を出版していた。この本が変形菌愛に溢れていて物凄く面白い。そんなこんなで自分でも変形菌を探してみるも、、、全然ダメ。全く見つからなくて飽きっぽい私はすぐにさじを投げてしまった。

それから月日は流れ、つい先日、猿江公園でふと落ち葉に目を向けたら2mmほどの小さいキノコのようなものが並んでいるのが見えた。拡大してみるとキラキラ輝いている！これは！変形菌図鑑の表紙にもなっている**美麗変形菌、ジクホコリだ！！**あまりの美しさにウツリしてしまう。でも…小さすぎるよー！

面白いのは、一度見えるようになると、それまで**見つけられなかったのがウソのように、周囲から次々と発見できたこと**だ。ついでに他の種類の**変形菌まで見つけることができた**。ただ見えていないだけだったのだ。

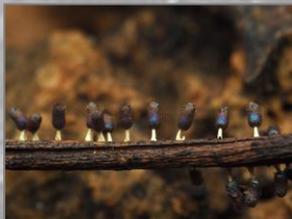
生き物を探していると、こういうことって良くある。面白いことはそこに存在しているのに、知らない（見つけられない）とその面白さを見出すことができない。今回、偶然ではあるがジクホコリを見つけることができ、**自然に対する解像度がまた少し上がった**気がして嬉しくなる。さあ、これから先、どんな面白いものを見つけれられるだろう。



校庭にいた変形菌の変形体（種類不明）アメーバのように形を変えながらゆっくり動き、細菌を食べる。



落ち葉に群生しているクラカタホコリ？の子実体 ジクホコリを見つけてから、他の変形菌も見つけられるようになった。



枯れ枝の上の子実体 一列に並んでいて可愛い。枯葉の他、生きた葉の上にも群生する。



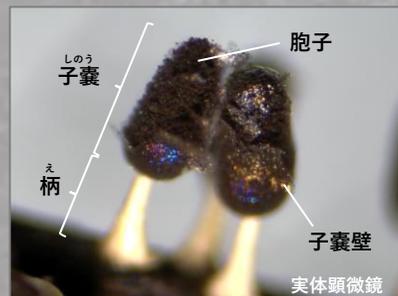
指とのサイズ比較 変形菌の子実体はとても小さい。地面に顔を近づけてじっくり見ないと見つからない。



ジクホコリの未熟な子実体 変形体から子実体に変化しているところ。どろどろとした姿から徐々にキノコのように子実体を伸ばし、最終的に右の写真のようになる。



変形菌の一種であるジクホコリ *Diachea leucopodia*の子実体 6月19日 変形菌は「粘菌」の仲間であり、キノコなどが属する菌類（真菌類）とは全く異なる生物である。変形菌は、アメーバのように動きエサを食べる「変形体」と呼ばれる時期と、胞子を飛ばす「子実体」の時期がある。エサを食べるといった動物的な特徴と、胞子が増えるという菌や植物に似た特徴を併せ持つ不思議な生き物で「原生生物」というグループに入れている。ジクホコリの子実体は青や赤っぽく輝く金属光沢がありとても美しい。



子嚢壁が破れた子実体の拡大 子嚢の中に無数の胞子が詰まっている。半透明の子嚢壁が光の干渉作用により虹色に輝く（構造色）。



子嚢壁が消失し胞子が飛んだ後の子実体 多数の胞子が舞う様子から〇〇ホコリという名前が付けられている。